



教育ながの

第 611 号

平成 25 年 10 月 18 日

★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

ネット社会を考える

心の支援室長 永原経明

2. [特集](#)

小中学生のための「信州ふれあい自然体験キャンプ」を開催しました

文化財・生涯学習課

3. [今、学校では](#)

(1) 子ども・保護者・教職員連携による歩数計を活用した健康づくりの推進
松川 東小学校

(2) 「第 20 回長野県高等学校総合文化祭・第 42 回全国高等学校総合文化祭について」

長野県高等学校文化連盟

4. [イベント情報・お知らせ](#)

5. [あとがき](#)

心の支援室では、7月に県内の小学校4年生から高校3年生までの約3千名を対象に「携帯電話とインターネットについてのアンケート調査」を行いました。この調査の中で、特徴的なことは、スマートフォンの急速な普及状況です。例えば、高校2年生では、昨年度約28%の所持率であったものが、本年度は約83%という伸びです。また、小学校高学年の子どもたちの携帯電話の所持率も増加しております。



このような変化の中で、気になる点があります。それは、携帯電話のインターネットを1日2時間以上利用するという項目で、前年比、小学生において1.7%が4.7%、中学生においては、8.8%が17.0%と、大幅に増加していることです。1年間でこれだけの変化ですから、この急増には危機感を覚えます。また、ネット利用の仕方は、動画・音楽などのサイト、ゲームサイトが多く、中・高校生になると、LINEなどの使用も増えています。

インターネットは、便利ではあるものの負の部分として様々な弊害が指摘されているところです。悪質なサイト、メールやLINEによるトラブル、使いすぎによるネット依存症、等々です。特にこの依存症について各方面より警鐘が鳴らされています。

長野県は、全国と比較しますと小学生、中学生の携帯電話の所持率は低い状況ですが、今後、増加することが予想され、それに伴いインターネットの使用も増えていくと思われます。今こそ、教員、保護者がインターネットの弊害について理解を深め、子どもたちの発達段階に合わせた指導をしていくことが急務であると考えます。心の支援室としましてもPTAの方々とも連携をしながら、対策を講じていきたいと考えております。

特集

小中学生のための「信州ふれあい自然体験キャンプ」を開催しました 文化財・生涯学習課

記録的な**猛暑**が続いた今夏、阿南町にある清流和知野川に、県内各地から参加した小中学生の歓声が響きました。

今年で19回目となるこのキャンプは、長野県阿南少年自然の家（※1）を会場に、8月7日から11日までの4泊5日で実施しました。小学校3年生から中学校3年生までの児童・生徒50名が参加しました。

野外炊事や**キャンプファイヤー**、**虫捕り**に**イワナ**のつかみ取りなど、普段できない自然体験活動を、子ども達の活動を支援するサポーター（大学生等）の支援のもと、子ども達は初めて出会った仲間と協力して伸び伸びと楽しんでいました。その中でも、キャンプ3日目に行われる和知野川での川遊びは、キャンプ中のメインイベントです。当日の夕食では、子ども達がたわいもないおしゃべりに興じ、あちこちのテーブルで**笑顔**がはじけていました。

「信州ふれあい自然体験キャンプ」は、不登校支援の側面を持っています。不登校問題が深刻な教育的課題となってきた平成7年に、長野県望月少年自然の家（※2）を会場にして初めて開催しました。その目的は、子ども達が恵まれた自然環境の中での共同宿泊体験を通して、助け合うことの大切さ、自分を思い切り出す爽快感、仲間と過ごす楽しさなどを通じ、自立心や社会性を育み、学校生活への復帰を支援しようとするものでした。平成8年からは阿南少年自然の家でも開催し、以降平成22年まで2所で、平成23年からは阿南少年自然の家で開催してきました。

これまでに参加した児童・生徒は約1,700名（延べ人数）で、そのうち不登校または不登校傾向の児童・生徒の参加が約3割でした。そして、子ども達の活動を支援してきた大学生・短大生のサポーターは約1,000名です。サポーターの中には、かつてこのキャンプに参加した人もいれば、大学卒業後に養護教諭となり、その後も看護スタッフとしてこのキャンプを支援してくれる人もいます。

毎年キャンプ終了後、参加した児童・生徒及びその保護者にアンケートを実施しています。以下児童・生徒や保護者からの声（表記は原文のまま）を紹介します。

（児童・生徒から）

- すごい友だちができた。
- 自分のことを自分でできるようになった。
- せっきよくてきにお手つだいができるようになった。
- 一日を楽しくすごせるようになった。
- もっとやさしくなった。
- 楽しかったキャンプのでき事をしっかりとつたえることができた。

（保護者から）

- 自然の大切さを子供から話してくれます。
- 出来事や思った事を（子どもが）自分から話せるようになった。
- 学校での生活や係の仕事にも積極的に参加するようになりました。何か困った事があったとしても、何とかやり遂げようという気持ちが出てきたと思います。
- 一回り大きく成長した子供との距離を見直しました。
- 子供の思いや考えをまず聞くことを心掛けて肯定的に受け止めることが大切だと感じた。

以上から、児童・生徒に積極性、自主性が高まったという結果が読み取れます。また、不登校または不登校傾向にあった児童・生徒に改善傾向が見られた等の成果も報告されています。そして、保護者の声から読み取れる親の肯定的な受容は、子ども達の自尊感情の醸成にもつながるものと考えられます。

県教育委員会としては、これまでのキャンプの成果を踏まえ、来年度は望月少年自然の家でも「信州ふれあい自然体験キャンプ」を開催していく予定です。併せて、キャンプでの子ども達の活動を支援するサポーター養成の充実を図り、体験活動に関する理解の促進に努めることで、社会全体で自然体験をはじめさまざまな体験活動を推進する機運の醸成に努めてまいります。

※1 長野県阿南少年自然の家

<http://ananshonen.jp/>

※2 長野県望月少年自然の家

<http://www.sakunet.ne.jp/~moti1258/>

◆お問い合わせ◆

文化財・生涯学習課 生涯学習係

TEL : 026-235-7437

FAX : 026-235-7493

e-mail : bunsho@pref.nagano.lg.jp

子ども・保護者・教職員連携による歩数計を活用した健康づくりの推進 松川東小学校

(本校と本校の子ども達は、)現状

本校は、天竜川の東側に位置し、標高 881m にある全校児童 16 名 11 家庭の極小規模校です。

校歌の一節に「山に明け、山に暮れる われらは山の子ども達
・天によじのぼる生田の子どもよ」とあるように、子ども達は、平均 3~4km の坂道を歩いて登下校しています。坂道を通っている子ども達は遅く、休み時間には、校庭で走り回ったり、遊具で遊んだりと一日中活動的です。その一方で、極少数人数学校であるために、現状に甘えてしまいそうになる時もあります。また、就寝時刻が遅くなったり、排便習慣がついていなかったりと、生活のリズムが乱れている子どももいます。



(地域・保護者・学校教育の目標)では、

この地を大切にし、苦しさ、困難さに打ち勝ち、自分の未来を切り開いて行ける心・体力をもった子ども「天によじのぼる生田の子ども」に育ててほしいと願っています。

(願の具現化)

そこで、保護者、地域、全職員、子ども達が一緒になり、力強く山道、坂道を自分の足で歩いて登下校、個々の生活習慣の課題を改善しようと取り組んでいます。

(具体的取組)

具体的取組として、行動的な生活がどのくらいできたか自分の目で分かり、楽しみながら継続して心と体づくりをしていこうと、毎日、歩数計をつけることにしました。子ども、保護者・職員も身につけ、楽しみながら活動的な生活を意識しています。



また、朝学校まで歩いて来るためには、家での生活がリズムある状態でなくてはなりません。子ども達は、親の方と自分の生活を見直して、できていないことの中から、実現可能なことを決め、スモールステップで生活リズムを良くしていく取り組みも合わせて行っています。

子ども達は、自分の取り組みの様子を毎日、カードに記入して頑張っています。

(結果)

この結果、地域の方に見守られながら、雨が降っても、暑い日でも、歩いて登下校しています。多い子で 1 日 20,000 歩以上、生活リズムも少しずつ良くなってきています。

ちょっとしたことにはへこたれない、力強く未来に向かって歩める生田の子に育ってきています。

◆お問い合わせ◆

松川町立松川東小学校
下伊那郡松川町生田 4 7 3 5 番地
TEL (0265) 36-2303
FAX (0265) 36-6481
E-Mail : m-east@ch-you.ne.jp



今、学校では

「第20回長野県高等学校総合文化祭・第42回全国高等学校総合文化祭について」 長野県高等学校文化連盟

長野県の高等学校の文化系クラブで組織する長野県高等学校文化連盟（以下県高文連）では、毎年10月下旬～11月上旬にかけて、長野県高等学校総合文化祭（以下県総文祭）を開催してきました。長野県の高等学校の文化系クラブが結集する最大のイベントです。これまで県下四地区を巡回する形で開催されて参りました。

今年度は第20回を迎え、**10月18日から20日**にかけ南信地区飯田市を中心に開会式に当たる総合フェスティバル、専門部フェスティバルのほか、専門部に所属していない文化クラブも参加して日頃の活動の成果を発表します。あわせて、今夏長崎県で開催された第37回全国高等学校総合文化祭の最優秀賞受賞校の発表・表彰も予定しております。高文連南信支部では、飯田風越高校を中心に県総文祭実行委員会を組織して、「∞ Infinity ～過去の軌跡 未来の軌跡～」をテーマに準備を進めて参りました。ぜひ県内の多くの方々にご観覧いただきたいと、運営する生徒たちの意気込みも高まっております。

また、総文祭と前後して、県内各地で専門部の県フェスティバルが開催されます。これは、運動クラブの県大会に相当するイベントです。県総文祭や県フェスティバルの成績により来年度に茨城県でおこなわれる第38回全国総文祭への出場が決まります。合わせて足をお運びいただければと存じます。

加えて、平成30年度には第42回全国高等学校総合文化祭が、長野県で開催されることが今年6月に決定いたしました。

全国総文祭開催に向けて、これから県内で組織していかなければならない専門部も四つあり、課題として取り組みはじめました。広く県民の皆様のご協力をあおぎ、全国高等学校総合文化祭の長野大会が成功を収められるようよろしくお願い申し上げます。



写真は昨年の第19回県総文祭のもので
(パレード・総合フェスティバル 松本市 キッセイ文化ホール)

◆お問い合わせ◆

長野県高等学校文化連盟

〒380-8530

長野県長野市箱清水 3-8-5

長野西高等学校内

Tel/Fax 026-234-2685

E-mail: n-koubun@mx1.avis.ne.jp

イベント情報・お知らせ

11月から12月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆生涯学習月間講座 シンポジウム「子どもの未来づくりのために —体験格差をいかに埋めるか—」	11月7日(木) 9:40~16:00	基調講演:「体験活動とその影響—日本の子どもに 起こっている問題を考える」(仮題) ●話題提供 ①ゲーム・テレビ・ネットの害から子どもたちを守る 上原 博信 青木村立青木小学校PTA会長 ②青年リーダーと取り組む地域おこしのボランティア 活動 中條 昭雄 白馬村立白馬中学校教頭 武藤 慶太 「山のホテル」支配人 ③小学生を認知症サポーターに 宮坂 建樹 上田市立川西小学校教頭 川口由紀子 上田市健康福祉部高齢者介護課 主査 臼田 富子 認知症地域支援推進員 ●ディスカッション	講師 明石 要一 千葉大学教育学部教授
◆家庭・幼児教育講座 「発達障害の理解と支援」	11月25日(月) 13:00~16:00 ※託児可	講義:「発達障害の理解と支援」	講師 堀内 澄恵 総合教育センター生徒指導・特別支援教育 部専門主事
◆生涯学習推進講座 「地域で支える若者の自立」	12月5日(木) 9:40~16:00	講義:「自立に困難を抱える若者への支援」 事例発表・情報交換	講師 宮本 みち子 放送大学教養学部教授
※ 受講は無料です			

生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

◆お問い合わせ◆

長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢6342-4
電話: 0263-53-8822 FAX: 0263-53-8825
E-mail: shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

◆[長野県のホームページのリニューアルに伴い、長野県教育委員会のホームページのURLが変わりました](#)

◆[新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」をご活用ください。](#)

◆[長野県内の文化財を巡るバスツアー「体感！信州の文化財ガイドツアー」を実施します](#)

あしがき

メールマガジン 11月号をお届けします。

長い間 10月とは思えない暑い日が続いていましたが、近頃は朝夕冷え込む日々が続いています。

先日、冬服を出すのに合わせて自分の洋服を大幅に整理しました。

何年もこき使われて限界がきている服もあれば、ほとんど着ないまま数年眠っていた服もあり・・・
そのような服はリサイクルショップへ持って行きました。

タンスがすっきりしたせいか、心なしか着替えや洗濯もスムーズになった気がします。

さて、10月に入りましたので、メールマガジンホームページ版も衣替えをしてみました。

レイアウト等について、ご要望がありましたらお知らせください。(か)